

みんなの力で「福島を元気に」

本年は、東日本大震災と原発事故から15年、そして、現在の福島県が誕生してから150年という節目の年にあたります。この福島の地において、先人たちが、愛し、育み、挑戦を続けてきた足跡に思いを馳せるとともに、15年前に発生した未曾有の複合災害からの復興を必ずや成し遂げ、次世代に引き継いでいきたいと考えております。

また、近年の建築・住宅行政を取り巻く課題としては、人口減少社会に対応した住宅セーフティネット機能の充実、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた省エネ・再エネの導入や木造化・木質化の促進、頻発化・激甚化する自然災害に備えた既存建築物の耐震対策、より豊かな地域社会の形成を見据えた景観やユニバーサルデザインへの配慮、生産性の向上や働き方改革を踏まえたBIMをはじめとした建設DXの推進など、私たち建築関係の技術職に対する社会的要請はますます高まっており、これらの課題や新たな取組にも柔軟な思考で積極果敢に挑戦してまいります。

まちづくりの分野では、過疎中山間地域における定住人口の維持、県内への移住の促進や観光等による交流・関係人口の増大、新婚・子育て世帯の居住の安定確保を目指し、街並み景観の保全・向上や空き家の利活用を促進する事業を展開しております。

このような中で、私たちと一緒に県民が故郷に誇りと愛着を持ち、豊かさや幸せを実感することができる住環境や持続可能なまちづくり、地域に根差した魅力ある公共建築整備に携わってみませんか？

民間企業では経験し難い広大なフィールドが皆様を待っています！！

福島県土木部次長（建築担当）村上 金彦

